Takotsubo Cardiomyopathy　たこつぼ心筋障害

たこつぼ心筋障害は、わが国から発信された疾患である。しばしば精神的あるいは身体的ストレスが誘因になり発症することからストレス心筋症とよばれる。たこつぼ心筋障害の発症には明らかな性差があり、高齢女性に好発する。原因として、交感神経緊張や多枝れん縮、微小循環障害の関与が想定されているがいまだ不明である。発症早期には、胸痛や胸部圧迫感などの自覚症状に加えて心電図で ST 上昇や T 波陰転、左室心尖部に収縮異常を認める。左室収縮期像があたかも「たこつぼ」様であることが名前の由来である。たこつぼ心筋障害の臨床経過は急性心筋梗塞に類似しているが、心収縮異常に関与する冠動脈病変を認めない。<以下略>新臨床内科学 10 版

Inguinal Hernia　鼠径ヘルニア

鼠径部ヘルニアのうち、鼠径靭帯頭側で鼠径部に脱出するものを指す。外鼠径ヘルニアと内鼠径ヘルニアに分類される。一方大腿ヘルニアは鼠径靭帯直下に脱出するものを指す。

外鼠径ヘルニアでは、腸管が内鼠径輪から、もともと存在する鼠径管を通って外鼠径輪へ脱出する。内鼠径ヘルニアでは、組織抵抗減弱部である下腹壁動静脈、腹直筋外縁、鼠径靭帯に囲まれた Hesselbach（ヘッセルバッハ）三角から直接腹壁を貫通し、外鼠径輪へ脱出する。<以下略>新臨床内科学 10 版

Femoral Hernia　大腿ヘルニア

大腿輪をヘルニア門とし、小腸や大網が大腿管を通り鼠径靭帯下大腿三角部（大腿動静脈の内側）に脱出する。ヘルニア門が小さいため、嵌頓を起こしやすい。

鼠径ヘルニアに比べてまれだが、女性では外鼠径ヘルニアについて多い。80%が片側性で、中高年の女性、特に経産婦に多い。女性は男性に比べ大腿輪が広いこと、出産により大腿輪周囲の筋肉や筋膜が弱くなることが、主な理由として挙げられている。<以下略>新臨床内科学 10 版